

Hair Color Collection Recipe Guide

2022 Autumn&Winter

「フローム」と「クリエイティブ フェリエ ネオ」でつくる秋冬カラー

ヘアスタイル
解説動画は
こちら！



担当スタイリスト
による座談会は
こちら！



TREND 01

Mauve Pink

秋冬はくすみをプラスして甘すぎないモーヴピンクに

ファッションの色味が落ち着く秋冬はツヤ感のあるモーヴピンクを。ピンクとベージュだけだと彩度が高くなってしまいますので、紫みのあるパールをプラスしてくすみ感のあるピンクベージュに。そこにボルドーを5%だけ足して、モーヴピンクに仕上げています。

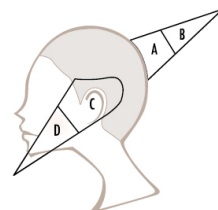
Before

全体ブリーチから1年、根元～中間は14レベル、中間～毛先16レベル（新生部1cm）、ダメージレベル大

Color

A（ベース／根元～中間）FV/Pink10 [ピンク]：FV/Pearl10 [パール]：FV/Beige10 [ベージュ]+FT/Bordeaux [ボルドー]=1：1：1+5% [ox 6%：3%=1：1]、B（ベース／中間～毛先）FV/Pink10 [ピンク]：FV/Pearl12 [パール]：FV/Beige12 [ベージュ]+FT/Bordeaux [ボルドー]=1：1：1+5% [ox 3%]、C（インナー／根元～中間）FT/Bordeaux [ボルドー]：FT/Burgundy [バーガンディー]：F/Sheer [シアア]+FV/Beige12 [ベージュ]=1：1：30+10% [ox 3%]、D（インナー／中間～毛先）FT/Bordeaux [ボルドー]：FT/Burgundy [バーガンディー]：F/Sheer [シアア]=1：1：40 [ox 3%]

Before /



TREND 02
Olive Grege



秋冬のオリーブグレイージュはツヤ感たっぷりに仕上げて

秋冬に向けてツヤやかに見せるため、赤みのないオリーブ系に。ダメージのある毛先部にカーキを単品で使うと緑寄りにくすみすぎてしまうので、黄みを消しつつ、柔らかなベージュに寄せてくれるニュートラルグレイージュを混ぜて調節しています。

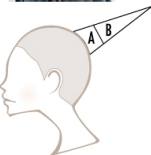
Before

根元～中間は 10 レベル、中間～毛先は 11 レベル（新生部 3 cm）、ブリーチ歴はないが、カラー履歴は複雑

Color

A（新生部）FV/Khaki8 [カーキ] [ox3%]
B（中間～毛先）FV/Khaki10 [カーキ]:C/NeG8 [ニュートラルグレイージュ]=2:1 [ox3%]

Before /



TREND 03
Olive Beige



透明感とツヤ感が魅力のオリーブベージュ

トーンダウンする秋冬ファッションに映えるように、オリーブベージュで透明感のある仕上がりに。オリーブは赤み消しにも効果的なので、オレンジみの強い髪質におすすめ。さらに、ナチュラルブラウンを加えると赤みを抑えたくすみ感を表現できます。

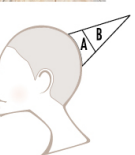
Before

11 レベルのオレンジブラウン系（新生部 2 cm）、ブリーチ歴なし

Color

A（新生部）C/EM8 [エメラルド]:FT/Olive [オリーブ]:F/Booster [ブースター]=1:1:1 [ox6%]
B（中間～毛先）C/EM10 [エメラルド]:C/NB10 [ナチュラルブラウン]:FT/Olive [オリーブ]:F/Sheer [シアア]=1:1:1:2 [AC3%]

Before /



TREND 04
Vintagepink×Mochabeige



2色のコントラストが効いた
ヴィンテージピンク × モカベージュ

以前は高明度の 1 色カラーが人気でしたが、今年は多色使いが人気。インナーカラーも一歩進んでセクションカラーに。今回は、秋冬に向けてヴィンテージピンク×モカベージュを提案。2カラーのコントラストを強めて、色が引き立つように。

Before

17.5 レベル、髪表面にグリーンの残留あり（新生部 1 cm）

Bleach

脱染剤で残留を取り、弱めのブリーチで全体を 18 レベルに整える

Color

A（オーバーセクション）(FT/Burgundy [バーガンディー]:FT/Cherry Pink [チェリーピンク]):F/Sheer [シアア]=2:1:3 [ox3%]
B（アンダーセクション）FT/Vanilla Beige [バニラベージュ]:F/Sheer [シアア]=1:2 [ox3%]

Before /



TREND 05
Bluelavender×White



ブルーラベンダー × ホワイトの
セクションカラーで秋冬らしさを

赤みの少ないブルーラベンダーとなじみのいいホワイトを、正面から見たときに交互に見えるように配置。セクションカラーの配置をモデルの顔型や頭の形に合わせて考えると補正効果にも役立ちます。色のコントラストが強いとより秋冬らしさが際立ちます。

Before

18 レベル、グリーンの残留あり（新生部 1 cm）、最終ブリーチから 1 カ月、ダメージレベル大

Bleach

ブリーチで残留を取り、全体を 18 レベルに整える

Color

A（ベース）F/Sheer [シアア]:FV/Violet10 [バイオレット]:FV/Pink10 [ピンク]=20:1:1 [ox6%×1.5]
B（セクションカラー）FT/Royal Orchid [ロイヤルオーキッド] [ox6%×1.5]

Before /

